Cisco IP Phone のカスタマイズ

- 電話機の情報とディスプレイの設定，1 ページ
- コール機能の設定，5 ページ
- ボイス メールの設定，7 ページ
- 内線への着信音の割り当て，8 ページ
- 音声設定の構成，8 ページ
- 電話機 Web サーバ，9 ページ

電話機の情報とディスプレイの設定

電話機の Web ユーザ インターフェイスを使用すれば、電話機名、背景画像、ロゴ、スクリーンセーバーなどの設定をカスタマイズすることができます。

電話機の名前の設定

手順

ステップ 1 電話機の Web ユーザ インターフェイスで、[管理者ログイン（Admin Login）]>[詳細（advanced）]>[音声（Voice）]>[電話機（Phone）] に移動します。

ステップ 2 [全般（General）] で、[ステーション表示名（Station Display Name）] フィールドに電話機名を入力します。
この名前が左上の電話機の LCD に表示されます。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

セットアップ画面のカスタマイズ

Cisco IP Phone がブートアップしたときに表示されるテキストまたは画像ロゴ（サイズが 128 X 48 ピクセルで奥行きが 1 ビット）を作成できます。ロゴは、シスコ ロゴが表示された後の短いブート シーケンス中に表示されます。

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [電話機（Phone）] の順にクリックします。

ステップ 2 テキスト ロゴを表示するには、次の要件に従ってテキストを [テキスト ロゴ（Text Logo）] フィールドに入力します。

- 最大 2 行のテキストを入力する。
- 各行は 32 文字未満にする必要がある。
- 2 行の間に改行文字（\n）とエスケープ コード（%0a）を挿入する。

  たとえば、`Super\n%0aTelecom` は次のように表示されます。

  ```
  Super
  Telecom
  ```

- 書式設定用のスペースを追加するには、+ 記号を使用します。テキストの前後に複数の + 記号を追加することにより、テキストを中央に配置することができます。

ステップ 3 画像ロゴを表示するには：

- [ロゴ画像ダウンロード URL（Logo Picture Download URL）] フィールドにパスを入力します。

  次に例を示します。

  ```
  http://10.64.84.147/pictures/image04_128x48.png
  ```

  サポートされている電話機画像ファイルの属性は、ビットマップ形式、1 ビット/ピクセル色、および 128 X 48 ピクセルのサイズです。また、TFTP サーバを使用することもできます。

- [ロゴの選択（Select Logo）] を [ロゴ画像（Logo Picture）] に変更します。

ステップ 4 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。
電話機がリブートして、.png ファイルを取得し、次のブート時にその画像を表示します。

壁紙画像のダウンロードと設定

画像をダウンロードして電話画面の背景をカスタマイズすることができます。

手順

ステップ 1 [壁紙画像ダウンロード URL（Wallpaper Picture Download URL）] フィールドにパスを入力します。URL には、TFTP または HTTP サーバ名（または IP アドレス）、ディレクトリ、およびファイル名を含める必要があります。

例：

- `http://10.64.84.147/pictures/image04_800x480x24.png`

サポートされている電話機画像ファイルの属性は、PNG 形式、24 ビット/ピクセル色、および 800 X 480 ピクセルのサイズです。また、TFTP サーバを使用することもできます。

ステップ 2 ダウンロード後は、電話機の LCD メニューに移動して、[アプリケーション（Applications）]>[初期設定（Preference）] > [壁紙（Wallpaper）] を押し、新しいダウンロード画像を背景画像として設定できます。

（注） 壁紙は、電話機の LCD メニューを経由しなければ設定または削除することができません。

スクリーン セーバーの設定

Cisco IP Phone のスクリーン セーバーを設定できます。電話機は、指定された期間アイドル状態のときに、スクリーン セーバー モードに入ります。

任意のボタンを押すと、通常モードに戻ります。ユーザ パスワードが設定されている場合は、スクリーン セーバー モードを抜けるためにその入力が求められます。

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [電話機（Phone）] の順にクリックします。

ステップ 2 [全般（General）] セクションの [スクリーン セーバー有効（Screen Saver Enable）] フィールドで、[はい（Yes）] を選択して有効にします。

ステップ 3 [スクリーン セーバー待機（Screen Saver Wait）] フィールドに、スクリーン セーバーが開始するまでのアイドル時間の秒数を入力します。

ステップ 4 [スクリーン セーバー アイコン（Screen Saver Icon）] フィールドで、表示タイプを選択します。

- [ステーション時刻（Station Time）] : 時刻が IP 電話画面の中央に表示されます。

- [ロック（Lock）]：電話機に動く鍵マークのアイコンが表示されます。電話機がロックされている場合は、ステータス行にスクロールメッセージの「電話機をロック解除するには任意のキーを押してください（Press any key to unlock your phone）」が表示されます。
- [シスコ（Cisco）]：電話機にシスコ ロゴが表示されます。
- [日時（DateTime）]：電話画面に日時が表示されます。
- [壁紙画像（Wallpaper Picture）]：電話機に背景画像が表示されます。

ステップ 5 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

LCD の明るさの設定

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [ユーザ（User）] をクリックします。

ステップ 2 [LCD] で、[LCD の明るさ（LCD Brightness）] フィールドに、1 ～ 15 の数値を入力します。数値が大きいほど、IP 電話画面の明るさが増します。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

バック ライト設定の構成

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [ユーザ（User）] をクリックします。

ステップ 2 [LCD] で、[バック ライト タイマー（Back Light Timer）] ドロップダウン リスト ボックスを使用して、バック ライトが消灯するまでのアイドル時間の秒数を選択します。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

回線あたりのコール アピアランス数の設定

1 つの回線上で複数のコール アピアランスをサポートする電話機は、回線上で許可するコール数を指定するように設定できます。

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [電話機（Phone）] の順にクリックします。

ステップ 2 [さまざまな回線キー設定（Miscellaneous Line Key Settings）] セクションで、[回線あたりのコール アピアランス数（Call Appearances Per Line）] ドロップダウン リスト ボックスを使用して、許可する回線あたりのコール数を指定します。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

コール機能の設定

通話転送の有効化

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [電話機（Phone）] の順にクリックします。

ステップ 2 [補足サービス（Supplementary Services）] で、有効にする転送サービスのそれぞれに対して [はい（Yes）] を選択します。

- [在席転送サービス（Attn Transfer Serv）] : 在席コール転送サービス。ユーザは、コールに応答してから転送します。
- [ブラインド転送サービス（Blind Transfer Serv）] : ブラインド コール転送サービス。ユーザは、発信者と会話せずにコールを転送します。

ステップ 3 転送サービスを無効にするには、このフィールドを [いいえ（No）] に設定します。

ステップ 4 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

コール転送の有効化

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [電話機（Phone）] の順にクリックします。

ステップ 2 [補足サービス（Supplementary Services）] で、有効にするコール転送サービスのそれぞれに対して [はい（Yes）] を選択します。

- [不在転送サービス（Cfwd All Serv）] : すべてのコールを転送します。
- [話中転送サービス（Cfwd Busy Serv）] : 回線が使用中の場合にのみコールを転送します。
- [無応答時転送サービス（Cfwd No Ans Serv）] : 回線が応答されない場合にのみコールを転送します。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

会議の有効化

手順

ステップ 1 電話機の Web ユーザ インターフェイスで、[管理者ログイン（Admin Login）]>[詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [電話機（Phone）] に移動します。

ステップ 2 [補足サービス（Supplementary Services）] の [会議サービス（Conference Serv）] ドロップダウン リスト ボックスで [はい（Yes）] を選択します。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

DND（応答不可）を有効にする

ユーザが応答不可機能をオンまたはオフにできるようにします。この機能は、相手が電話に出られないことを発信者に伝えるメッセージを再生します。Cisco IP Phone では、[無視（Ignore）] ソフトキーを押すことによって、着信中のコールを別の接続先に転送することもできます。

電話機でこの機能が有効になっている場合は、LCD ソフトキーを使用してこの機能をオンまたはオフにします。

手順

ステップ 1 電話機の Web ユーザ インターフェイスで、[管理者ログイン（Admin Login）]> [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [電話機（Phone）] に移動します。

ステップ 2 [補足サービス（Supplementary Services）] の [DND サービス（DND Serv）] ドロップダウン リスト ボックスで [はい（Yes）] を選択します。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

ボイス メールの設定

ボイスメール システムの内線/外線電話番号または URL を設定できます。外部のボイスメール サービスを使用している場合は、番号にダイヤル アウトするために必要なすべての数字と必要な市外局番を含める必要があります

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [電話機（Phone）] の順にクリックします。

ステップ 2 [全般（General）] で、[ボイスメール番号（Voice Mail Number）] を入力します。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。電話機がリブートします。

内線ごとのボイス メールの設定

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [内線（n）（Extn）] の順にクリックします。

ステップ 2 [コール機能設定（Call Feature Settings）] で、ボイスメール サーバを入力します。

ステップ 3 （オプション）ボイスメール サブスクライブ インターバル（ボイスメール サーバへのサブスクリプションの秒単位の有効期限）を入力します。

ステップ 4 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。電話機がリブートします。

メッセージ待機インジケータの設定

電話機の個々の内線番号に対してメッセージ受信インジケータを設定することができます。メッセージ待機インジケータは、メールボックス内の新しいボイスメール メッセージの有無に基づいて点灯します。

IP 電話上のインジケータは、ボイスメールが残っているときやメッセージ待機通知が表示されているときに点灯させることができます。

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [内線（n）（Extn）] の順にクリックします。

ステップ 2 [メッセージ待機（Message Waiting）] の [コール機能設定（Call Feature Settings）] で、[はい（yes）] を選択して有効にします。

内線への着信音の割り当て

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [内線（n）（Ext(n)）] の順にクリックします。ここで、(n) は内線番号です。

ステップ 2 [コール機能設定（Call Feature Settings）] で、[デフォルト呼出音（n）（Default Ring (n)）] ドロップダウン リスト ボックスを使用して、次のいずれかを指定します。

- [呼出音なし（No Ring）]
- 1 ～ 9：使用可能な呼出音のいずれかを選択します。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

音声設定の構成

ユーザは、電話機の音量調節ボタンを押してから、[保存（Save）] ソフトキーを押すことにより、音量設定を変更できます。

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [ユーザ（User）] をクリックします。

ステップ 2 [音声（Audio）] セクションで、1 ～ 10 の音量レベルを設定します。1 が最低レベルです。

- [呼出音音量（Ringer Volume）]：呼出音の音量を設定します。
- [スピーカーの音量（Speaker Volume）]：全二重スピーカーフォンの音量を設定します。
- [ヘッドセットの音量（Headset Volume）]：ヘッドセットの音量を設定します。

ステップ 3 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。

ユーザ アクセス制御

Cisco IP Phone は "ua" ユーザ アクセス属性だけを尊重します。特定のパラメータでは、"ua" 属性が管理 Web サーバへのユーザ アカウントによるアクセスを定義します。"ua" 属性が指定されなかった場合は、電話機が対応するパラメータの工場出荷時のユーザ アクセスを適用します。この属性は admin アカウントによるアクセスに影響しません。

（注） 要素属性の値は二重引用符で囲みます。

"ua" 属性は、次のいずれかの値にする必要があります。

- na：アクセスなし
- ro：読み取り専用
- rw：読み取り/書き込み

電話機 Web サーバ

Web サーバを使用すれば、管理者とユーザは、電話機の Web ユーザ インターフェイスを使用して電話機にログインすることができます。管理者とユーザは、そのロールに基づいて、別々の権限を持ち、電話機に関する別々のオプションが表示されます。

電話画面インターフェイスからの Web サーバの設定

電話画面から電話機の Web ユーザ インターフェイスを有効にする場合は、次の手順を使用します。

手順

ステップ 1 [アプリケーション（Applications）] を押します。

ステップ 2 [管理者設定（Admin Settings）] > [Web サーバの有効化（Enable Web Server）] の順に選択します。

ステップ 3 [編集（Edit）] を選択します。

ステップ 4 [はい/いいえ（y/n）] を押して、選択を [はい（Yes）] に切り替え、有効にします。

ステップ 5 [OK] > [保存（Save）] の順にクリックします。

電話機の Web インターフェイスへのアクセスの有効化

手順

ステップ 1 [管理者ログイン（Admin Login）] > [詳細（advanced）] > [音声（Voice）] > [システム（System）] をクリックします。

ステップ 2 [システム設定（System Configuration）] セクションで、[Web サーバの有効化（Enable Web Server）] ドロップダウン リスト ボックスから [はい（Yes）] を選択します。

ステップ 3 [Web サーバ ポート（Web Server Port）] フィールドに、Web サーバにアクセスするためのポートを入力します。デフォルトはポート 80 です。

ステップ 4 [Web 管理者アクセスの有効化（Enable Web Admin Access）] ドロップダウン リスト ボックスで、電話機の Web ユーザ インターフェイスの [管理者ログイン（Admin Login）] へのローカル アクセスを有効または無効にすることができます。デフォルトは [はい（Yes）]（有効）に設定されます。

ステップ 5 [管理パスワード（Admin Password）] フィールドには、システム管理者が電話機の Web ユーザ インターフェイスにログインするときに使用するパスワードを入力します。管理者が [管理者ログイン（Admin Login）] をクリックすると、パスワード プロンプトが表示されます。最小パスワード長は 4 文字で、最大パスワード長は 127 文字です。

（注） パスワードには、以下を除く任意の文字を含めることができます。

- スペース キー
- 13 個のアスタリスク（**********）

ステップ 6 [ユーザ パスワード（User Password）] フィールドには、ユーザが電話機の Web ユーザ インターフェイスにログインするときに使用するパスワードを入力します。ユーザが [ユーザ ログイン（User Login）] をクリックすると、パスワード プロンプトが表示されます。最小パスワード長は 4 文字で、最大パスワード長は 127 文字です。

（注） パスワードには、以下を除く任意の文字を含めることができます。

- スペース キー
- 13 個のアスタリスク（**********）

ステップ 7 [すべての変更を送信（Submit All Changes）] をクリックします。